

## 地域連携推進会議(城陽)議事録

日時:2026年3月4日(水)10:00~11:45

場所:シュクレサレ

議事、進行、記録 奥山(シュクレサレ管理者)

### 今会議にご参加いただいた方

- 「地域の関係者」……………1名
- 「福祉に知見のある方」…1名
- 「利用者家族」……………1名
- 「利用者」……………2名
- 「法人本部より」……………1名
- 「グループホーム職員」…2名

### 地域連携推進会議(城陽)について

#### ▶地域連携推進会議の趣旨

以下を目的に、事業所において、地域の方等の外部の方を構成員とした会議体を設置し、会議の開催・構成員による施設訪問を実施します。

- ・ 利用者と地域との関係づくり
- ・ 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・ 施設等やサービスの透明性・質の確保
- ・ 利用者の権利擁護

#### ▶概要

- ・ 1事業所に対してひとつの会。「シュクレサレ」という事業所名で京都府の指定を受けている中に、寺田のシュクレサレと長池のHorteCosmoが含まれていますので、ひとつのまとめりとして1つの会議となります。
- ・ 構成員は5人程度。それ以上でも問題はありません。
- ・ 構成員は「利用者」「利用者家族」「地域の関係者」「福祉に知見のある方」「経営に知見のある方」「市町村担当者」を想定し、このうち「利用者」「利用者家族」「地域の関係者」は必須となっています。

#### ▶主な実施内容

- ・ 年1回以上会議の開催。以上に内容を掲示
- ・ 構成員の年1回以上の訪問。訪問は全ホームが対象ですが、構成員ひとりにつきシュクレサレ、HorteCosmoのどちらかだけでもよいこととなっています。  
会議以外の時でも見学の調整、対応を致しますので、ご関心を持ってくださる方がおられればご紹介いただければと思います。
- ・ 次回以降にHorteCosmo(長池のグループホーム)と作業所の見学をしていただく機会を持ちたいと考えています。

## 報告事項

### グループホームの支援体制について

令和7年度よりグループホーム支援室職員を前年度より2名増員して支援体制を強化しました。

### 日々のお過ごしの様子について

- ・ 平日:10時~15時まで、利用者の皆さんはお仕事や作業所に行かれます。その間、ホームに世話人は不在となります。夕方以降は入浴・夕食・洗濯・余暇の過ごしとなります。
- ・ 休日:終日世話人さんを配置しています。ご本人単独での外出やガイドヘルパーさんと出かける方、週末に帰宅をされる方、ホームでゆっくりと過ごされる方がいらっしゃいます。
- ・ 体調不良による通院や自室で静養が必要な場合には、平日の日中も、主にグループホーム支援室から職員が付き添って対応しています。
- ・ 門限等は特に取り決めていませんので、基本的には個別の相談となります。一般企業にお勤めの方の中には、仕事の都合で朝が早い、夜が遅い方もおられるので個別に配慮しています。
- ・ 作業所が、以前は城陽駅前の建物で、“まほら社”という事業所名でしたが、現在は精華町で運営している事業所「べるく社」の分場として HorteCosmo1階で活動しています。
- ・ 季節行事は日中に実施することが多いため、べるく社に協力する形で一緒に取り組んでいます。今年度は6月にバーベキュー、11月に日帰り旅行で信楽、1月に新年会として餅つきを行いました。グループホームは生活の場なので、食事に季節感を取り入れることが多く、お正月はおせち風の食事、クリスマスにはクリスマスケーキを提供するなどしました。コロナ以前は食事を手作りする日を設定し、皆さんで調理する機会も設けていましたが、現在はできていないところです。また再開をしたいと考えています。

### 年度内の事故報告

シュクレサレ・HorteCosmo 共に、今年度に発生した事故について件数が多かった内容

- ・ 投薬の間違い・・・飲む時間や間違えてお渡ししたこと等、世話人さんの確認ミスが原因。
- ・ 物損事故・・・HorteCosmo の方で、行動のコントロールが難しくなりやすい方が、力任せにドアを扱ったことなど。
- ・ 職員の労災事故・・・介助中の負傷

## 検討事項

構成員の任期(決まりはなく、事業所に任せることとされている)

任期は2年をお願いします。今回、令和7年度に1度開催をしたので初回は7年度と8年度を任期にさせていただきます。構成員の再任や追加、職員や利用者さんの入れ替えによる様々な方のご参加も検討していきます。

### 令和8年度の予定

令和8年度は6月と2月の2回を会議の開催予定月にします。

日時の調整はそれぞれ前月までにご連絡をさせていただきます。

## 《その他の意見交換》

### 見学の感想など

- ▶廊下が広く、共用品の収納スペースもうまく設置されていて、使いやすそうだと感じた。
- ▶13年も経っているとは思えない程、きれいな状態が維持できている。
- ▶洗濯機が共用だが、10人に対して3台あるので利用者が困られることなく使ってもらえている。

シュクレサレ開所当初に地域からの不安の声があったと承知しているが、13年間の間に地域になじんだ様子が見られる。実際にどのような変化があったのか。

▶最初は中村オーナーの大変なご尽力で支えていただきました。地域の皆さまに対しては、特別な取り組みを行って福祉施設であることをアピールするよりも、利用者さんが地域の一員としてここで日々を普通に暮らせている事実こそが貴重だと考えていて、仕事に行き来している様子や休日に外出をしている所等、変わったことをしているわけではない日常を送っていること、普通の距離感を持つことが積み重ねの中で認識してもらえたのではないかと思います。

▶また当初より毎年欠かさず地域の行事に参加(お祭りの準備や清掃活動等)することで、知っていただく機会を持つようになってきました。自治会にも入会し、回覧板を回す際には直接お話する機会もあり、現在はここにグループホームがあることを受け入れてもらっている現状があります。作るときの苦勞を知っている方々もたくさんいらっしゃいますが、13年の年月の中で近隣の皆さまとコミュニケーションをとり、受け入れていただけたのではないかと思います。

▶実際生活をしている者としては、大きく施設をアピールする看板も無く、普通の家のように感じているのいいと思っています。

▶保護者が訪問した際には、意図してお向かいのお店で野菜や果物を購入し、関わりをもつ機会を作っています。そうすることで知っていただき、よくご挨拶もしていただけています。

入居している自分の家族が、グループホームで一緒に生活されている方にご迷惑をかけているのではないかと心配。

▶複数の方と一緒に暮らす場所なので、一人になりたいことも嫌になるときもありますが、自分も迷惑をかけてしまうこともあると思っているので、お互い様という気持ちでいます。

▶そのように思っただけなら家族としてはとてもありがたいです。

年齢の制限などはあるのか？いつまでも暮らし続けられるのか？

▶ホームとして年齢制限は設けていませんが、身体機能の低下により、階段の昇降など、現実的な支障が生じて、利用継続が難しくなる可能性はあるかもしれません。

▶今は問題なく生活していますが、自分の足腰が弱くなったり、認知症になったらどうなるのか不安に思うことがあります

▶国の制度としては、65歳になると「介護保険サービスを優先する」こととなっています。介護認定を受け、介護保険の施設へ移ることや、日中に介護保険のデイサービスなども利用できます。ご本人が今のままの生活を希望されれば、理由を示して、総合支援法のサービスを利用することもできるので、ご本人の希望や状態に合わせて、制度を使いこなせるよう支援したいと考えています。

以上